



## セキュリティ モジュール/エンジン管理

- [FXOS セキュリティ モジュール/セキュリティ エンジンについて \(1 ページ\)](#)
- [セキュリティ モジュールの使用停止/再稼働 \(3 ページ\)](#)
- [セキュリティ モジュール/エンジンの確認応答 \(4 ページ\)](#)
- [セキュリティ モジュール/エンジンのリセット \(4 ページ\)](#)
- [セキュリティ モジュール/エンジンの再初期化 \(5 ページ\)](#)
- [ネットワーク モジュールのオフラインまたはオンラインの切り替え \(6 ページ\)](#)
- [インストールされているモジュール/エンジンの電源オン/オフ \(7 ページ\)](#)

## FXOS セキュリティ モジュール/セキュリティ エンジンについて

Firepower Chassis Manager の [Security Modules/Security Engine] ページから、セキュリティ モジュール/エンジンのステータスを表示したり、セキュリティ モジュール/エンジンに対してさまざまな機能を実行したりできます。

[Security Modules/Security Engine] ページに次の情報が表示されます。

- [Hardware State] : セキュリティ モジュール/エンジンのハードウェアの状態を表示します。
  - [Up] : セキュリティ モジュール/エンジンに正常に電源が投入され、ハードウェア障害は見られません。
  - [Booting Up] : セキュリティ モジュール/エンジンに電源投入中です。
  - [Down] : セキュリティ モジュール/エンジンに電源が投入されていないか、ハードウェア障害によってセキュリティ モジュール/エンジンが正常に起動できません。
  - [Unassociated] : セキュリティ モジュール/エンジンには、関連付けられている論理デバイスがありません。
  - [Mismatch] : セキュリティ モジュールが使用停止となっているか、新しいセキュリティ モジュールがスロットにインストールされていませんでした。再稼働または確認応答機能を使用して、セキュリティ モジュールを機能している状態に戻します。

- [Empty] : スロットにセキュリティ モジュールは取り付けられていません。
- [Service State] : セキュリティ モジュール/エンジンのソフトウェアの状態を表示します。
  - [Not-available] : セキュリティ モジュールはシャーシのスロットから取り外されています。セキュリティ モジュールを再度取り付け、通常の動作状態に戻します。
  - [Offline] : セキュリティ モジュール/エンジンはインストールされていますが、使用が停止されて電源がオフになっているか、この時点では電源投入中になっています。
  - [Online] : セキュリティ モジュール/エンジンはインストールされており、通常の動作モードになっています。
  - [Not Responding] : セキュリティ モジュール/エンジンは応答不能です。
  - [Token Mismatch] : 以前に設定したもの以外のセキュリティ モジュールがシャーシスロットにインストールされていることを示します。これは、ソフトウェアのインストールエラーが原因である可能性もあります。再初期化機能を使用して、セキュリティ モジュールを機能している状態に戻します。
  - [Online] : セキュリティ モジュール/エンジンは障害状態にあります。障害状態の原因についての詳細情報を得るには、システム障害リストを確認してください。障害の情報アイコンにカーソルを合わせて、詳細情報を表示することもできます。

#### セキュリティ モジュールの障害

- [Failsafe Mode] : セキュリティ モジュールは、フェイルセーフ モードになっています。このモードでは、アプリケーションの起動がブロックされます。セキュリティ モジュールに接続すると、トラブルシューティングを行ったり、フェイルセーフモードを無効にしたりできます。アプリケーション インスタンスを削除することもできます。
- [HDD Error] : セキュリティ モジュールで、ディスク ドライブ エラーが発生しました。ディスク ドライブが存在することを確認してください。エラーが解消されない場合は、障害のあるディスク ドライブを交換します。
- [Filesystem Error] : セキュリティ モジュール上のディスク パーティションに互換性がありません。セキュリティ モジュールを再起動することで回復できる場合があります。それでも障害が解消されない場合は、外部デバイスにデータをバックアップしてからスロットを再初期化してください。
- [Format Failure] : セキュリティ モジュールのディスク ドライブを自動的にフォーマットできませんでした。セキュリティ モジュールを再初期化して再フォーマットしてください。
- [Power] : セキュリティ モジュール/エンジンの電源ステータスを表示します。
  - [On] : [Power off/on] 機能を使用して、セキュリティ モジュール/エンジンの電源ステータスを切り替えます。

- [Off] : [Power off/on] 機能を使用して、セキュリティ モジュール/エンジンの電源ステータスを切り替えます。
- [Application] : セキュリティ モジュール/エンジンにインストールされている論理デバイスのタイプを表示します。

Firepower Chassis Manager の [Security Modules/Security Engine] ページから、セキュリティ モジュール/エンジンに対して次の機能を実行できます。

- [Decommission/Recommission] (セキュリティ モジュールのみ) : セキュリティ モジュールを使用停止にすると、セキュリティ モジュールはメンテナンスモードに設定されます。また、特定の障害状態を修正するために、セキュリティ モジュールを使用停止にしてから再稼働することもできます。 [セキュリティ モジュールの使用停止/再稼働 \(3 ページ\)](#) を参照してください。
- [Acknowledge] : 新たにインストールされたセキュリティ モジュールをオンラインにします。 [セキュリティ モジュール/エンジンの確認応答 \(4 ページ\)](#) を参照してください。
- [Power Cycle] : セキュリティ モジュール/エンジンを再起動します。 [セキュリティ モジュール/エンジンのリセット \(4 ページ\)](#) を参照してください。
- [Reinitialize] : セキュリティ モジュール/エンジンのハードディスクを再フォーマットし、導入済みのすべてのアプリケーションや設定をセキュリティ モジュール/エンジンから削除し、システムを再起動します。論理デバイスがセキュリティ モジュール/エンジンに設定されている場合は、再初期化が完了すると、Firepower eXtensible Operating System はアプリケーションソフトウェアをインストールし、論理デバイスを再度導入し、アプリケーションを自動的に起動します。 [セキュリティ モジュール/エンジンの再初期化 \(5 ページ\)](#) を参照してください。



**警告** セキュリティ モジュール/エンジンのすべてのアプリケーションデータが再初期化時に削除されます。セキュリティ モジュール/エンジンを再初期化する前に、すべてのアプリケーションデータをバックアップしておいてください。

- [Power off/on] : セキュリティ モジュール/エンジンの電源状態を切り替えます。 [インストールされているモジュール/エンジンの電源オン/オフ \(7 ページ\)](#) を参照してください。

## セキュリティ モジュールの使用停止/再稼働

セキュリティ モジュールを使用停止にすると、セキュリティ モジュール オブジェクトが設定から削除され、そのセキュリティ モジュールは管理対象外になります。セキュリティ モジュール上で実行していた論理デバイスやソフトウェアは非アクティブになります。

セキュリティ モジュールの使用を一時的に中止する場合に、セキュリティ モジュールを使用停止にできます。また、セキュリティ モジュールを再起動してもエラー状態が修正されない場

合は、使用停止を試してから、セキュリティモジュールを再稼働させることで、セキュリティモジュールを再初期化しなくてもエラー状態を修正できるかどうかを確認できます。

#### 手順

- 
- ステップ1 [Security Modules] を選択して、[Security Modules] ページを開きます。
  - ステップ2 セキュリティモジュールを使用停止にするには、そのセキュリティモジュールの[Decommission] をクリックします。  
セキュリティモジュールを再稼働にするには、そのセキュリティモジュールの[Recommission] をクリックします。
  - ステップ3 [Yes] をクリックして、指定したセキュリティモジュールを使用停止または再稼働することを確認します。
- 

## セキュリティ モジュール/エンジンの確認応答

新しいセキュリティモジュールがシャーシに取り付けられた後、または既存のモジュールが異なる製品ID (PID) を持つモジュールで交換された後、セキュリティモジュールを確認応答してからでなければ、そのモジュールを使用することはできません。

セキュリティモジュールのステータスが [mismatch] または [token mismatch] として示されている場合、スロットに取り付けたセキュリティモジュールのデータが、そのスロットに以前インストールされたデータと一致していないことを意味します。セキュリティモジュールに既存のデータがあり、新しいスロットでそのデータを使用する（つまり、そのセキュリティモジュールは不注意で誤ったスロットに取り付けられたのではない）場合は、論理デバイスを展開する前に、セキュリティモジュールを再初期化する必要があります。

#### 手順

- 
- ステップ1 [Security Modules/Security Engine] を選択して、[Security Modules/Security Engine] ページを開きます。
  - ステップ2 確認応答するセキュリティモジュール/エンジンの [Acknowledge] をクリックします。
  - ステップ3 [Yes] をクリックして、指定したセキュリティモジュール/エンジンに確認応答することを確認します。
- 

## セキュリティ モジュール/エンジンのリセット

セキュリティモジュール/エンジンの電源の再投入を行うには、次の手順に従います。

---

### 手順

- ステップ 1** [Security Modules/Security Engine] を選択して、[Security Modules/Security Engine] ページを開きます。
- ステップ 2** リセットするセキュリティ モジュール/エンジンの [Power Cycle] をクリックします。
- ステップ 3** 次のいずれかを実行します。
- [Safe Power Cycle] をクリックして、システムに、指定のセキュリティ モジュール/エンジンをリセットする前に、セキュリティ モジュール/エンジンで実行するアプリケーションがシャットダウンするのを最大で 5 分間待機させます。
  - システムに、指定のセキュリティ モジュール/エンジンの電源をすぐのリセットさせるには、[Power Cycle Immediately] をクリックします。
- 

## セキュリティ モジュール/エンジンの再初期化

セキュリティ モジュール/エンジンを再初期化すると、セキュリティ モジュール/エンジンのハードディスクがフォーマットされ、インストールされているすべてのアプリケーションインスタンス、設定、およびデータが削除されます。論理デバイスがセキュリティ モジュール/エンジンに設定されている場合は、再初期化が完了すると、FXOSはアプリケーションソフトウェアを再インストールし、論理デバイスを再度導入して、アプリケーションを自動的に起動します。



- 注意** セキュリティ モジュール/エンジンのすべてのアプリケーション データが再初期化時に削除されます。セキュリティ モジュール/エンジンを再初期化する前に、すべてのアプリケーションデータをバックアップしておいてください。
- 

### 手順

- ステップ 1** [Security Modules/Security Engine] を選択して、[Security Modules/Security Engine] ページを開きます。
- ステップ 2** 再初期化するセキュリティ モジュール/エンジンの [Reinitialize] をクリックします。
- ステップ 3** [Yes] をクリックして、指定したセキュリティ モジュール/エンジンを再初期化することを確認します。

セキュリティ モジュール/エンジンが再起動し、そのセキュリティ モジュールのすべてのデータが削除されます。このプロセスには数分かかることがあります。

---

# ネットワークモジュールのオフラインまたはオンラインの切り替え

CLIコマンドを使ってネットワークモジュールをオフラインにしたりオンラインに戻したりするには、次の手順を実行します。この方法は、モジュールのオンライン挿入や削除（OIR）を実行する場合などに使用されます。



- (注) ネットワークモジュールを取り外して交換する場合は、お使いのデバイスに該当するインストールガイドの中で、メンテナンスとアップグレードの章にある指示に従ってください。  
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/firepower-ngfw/products-installation-guides-list.html>を参照してください。

## 手順

- ステップ 1** 次のコマンドを使用して /fabric-interconnect モードに入った後、オフラインにする対象のモジュールの /card モードに入ります。

```
scope fabric-interconnect a
scope card ID
```

- ステップ 2** `show detail` コマンドを使用すると、このカードに関する、現在のステータスなどの情報を表示することができます。

- ステップ 3** モジュールをオフラインにするには、次のコマンドを入力します。

```
set adminstate offline
```

- ステップ 4** `commit-buffer` コマンドを入力して、設定の変更内容を保存します。

再度 `show detail` コマンドを使用すると、モジュールがオフラインであることを確認できます。

- ステップ 5** ネットワークモジュールをオンラインに戻すには、次のコマンドを入力します。

```
set adminstate online
commit-buffer
```

## 例

```
FP9300-A# scope fabric-interconnect a
FP9300-A /fabric-interconnect # scope card 2
FP9300-A /fabric-interconnect/card # show detail
```

```
Fabric Card:
  Id: 2
```

```
Description: Firepower 4x40G QSFP NM
Number of Ports: 16
State: Online
Vendor: Cisco Systems, Inc.
Model: FPR-NM-4X40G
HW Revision: 0
Serial (SN): JAD191601DE
Perf: N/A
Admin State: Online
Power State: Online
Presence: Equipped
Thermal Status: N/A
Voltage Status: N/A
FP9300-A /fabric-interconnect/card # set adminstate offline
FP9300-A /fabric-interconnect/card* # commit-buffer
FP9300-A /fabric-interconnect/card # show detail

Fabric Card:
Id: 2
Description: Firepower 4x40G QSFP NM
Number of Ports: 16
State: Offline
Vendor: Cisco Systems, Inc.
Model: FPR-NM-4X40G
HW Revision: 0
Serial (SN): JAD191601DE
Perf: N/A
Admin State: Offline
Power State: Off
Presence: Equipped
Thermal Status: N/A
Voltage Status: N/A
FP9300-A /fabric-interconnect/card #
```

## インストールされているモジュール/エンジンの電源オン/オフ

セキュリティ モジュールまたはネットワーク モジュールの電源をオン/オフにするには、次の手順に従います。

### 手順

- ステップ1 [Security Modules/Security Engine] を選択して、[Security Modules/Security Engine] ページを開きます。
- ステップ2 セキュリティ モジュール/エンジンの電源をオフにするには、次のようにします。
  - a) そのセキュリティ モジュール/エンジンの [Power off] をクリックします。
  - b) 次のいずれかを実行します。
    - [Safe Power Off] をクリックして、システムに、指定のセキュリティ モジュール/エンジンの電源をオフにする前に、セキュリティ モジュール/エンジンで実行するアプリケーションがシャットダウンするのを最大で5分間待機させます。

- システムに、指定のセキュリティ モジュール/エンジンの電源をすぐにオフにさせるには、[Power Off Immediately] をクリックします。

**ステップ 3** セキュリティ モジュール/エンジンの電源をオンにするには、次のようにします。

- a) そのセキュリティ モジュール/エンジンの [Power on] をクリックします。
  - b) [Yes] をクリックして、指定したセキュリティ モジュール/エンジンの電源をオンにすることを確認します。
-